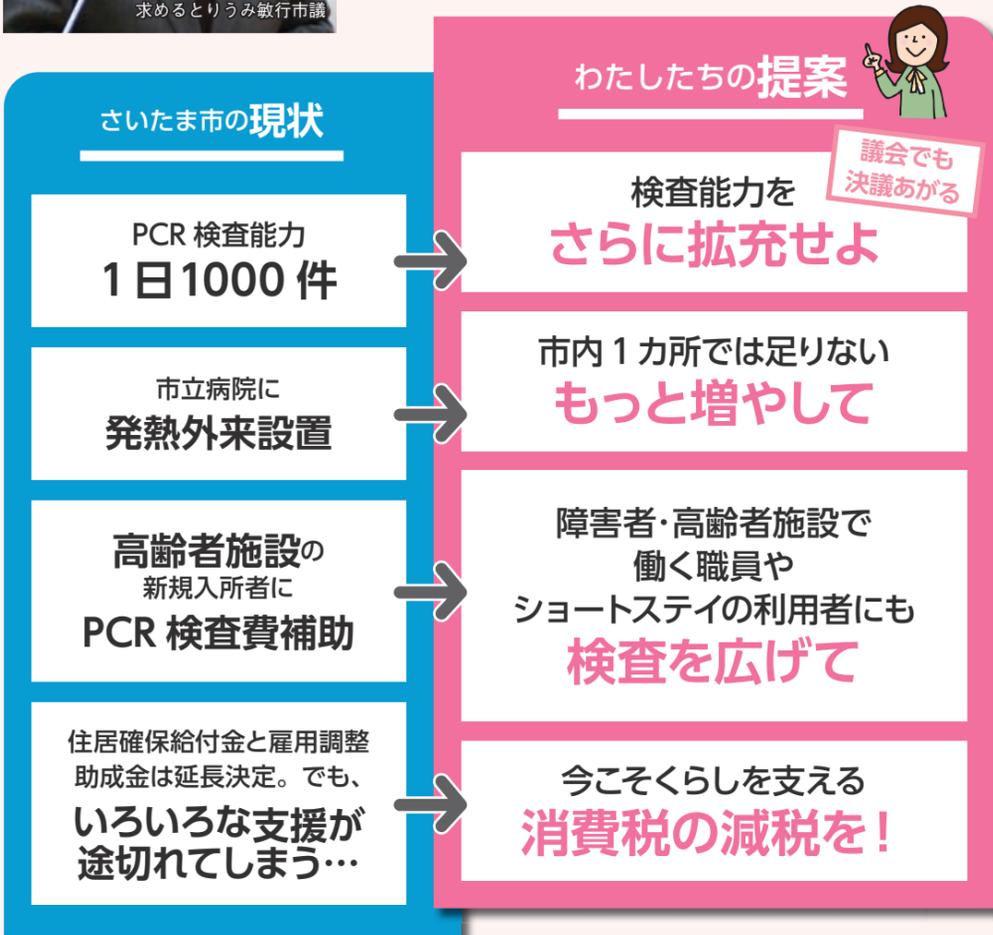


コロナ危機から命を守る。



一般質問で新型コロナ対策を求めるとりうみ敏行市議

だれが新型コロナウイルスに感染してもおかしくない状況になっています。12月議会では、コロナ危機から市民の命を守るため、さいたま市がやるべきことを全力で求めました。あたたかい支援を、今こそ！



党市議団が紹介 検査体制の充実を 決議あがる



質疑する神田市議

さいたま市社会保障推進協議会から出された「新型コロナ『第3波』に備え介護福祉現場に支援・補償を求める請願」をもとに、新型コロナ対策の拡充を求める決議があがりました。保健所の人員確保や、高齢者・障害者施設等で働く職員への検査の実施や感染拡大防止対策の財政支援などを市に求める決議です。

党市議団が提案 低所得世帯に通信費補助を継続して 意見書まとまる



討論するたけこし市議

現在、ICT教育の一環として、低所得世帯に対してパソコン等での家庭学習のための通信費補助が特例的に行われていますが、いつまで補助が続くかは未定です。家庭の経済状況にかかわらずどの子どももICTを活用した学習を行えるよう、通信費補助の継続を国に求める意見書を党市議団が提案し、全会派一致でまとまりました。

少人数学級を求める請願が不採択に



質疑する松村市議

1万筆を超えて寄せられた「新型コロナウイルス感染防止のため20人程度の少人数学級実現を求める請願」が不採択となってしまいました。

私たちは「学校ではコロナ禍でも変わらぬ人数の子どもたちが教室に詰め込まれている。感染リスクを下げ、子どもと教職員のストレスを軽減しよう。生活面でも学習面でも一人ひとりへのていねいな対応を今こそ」として採択を求めましたが、民主・自民・公明が反対しました。

議員期末手当の 実質「引き上げ」議案に反対



討論するとば市議

今議会に、議員の期末手当の一部改定議案が出されました。

これは、特別職報酬等審議会の答申をふまえて2021年以降年間支給月数を0.05カ月引き下げ、3.35カ月分にするというもの。しかし、昨年度は台風19号の被害があり、議員期末手当を3.3カ月に据えおく措置を議会の判断で行いました。

今回の議案で3.35カ月となると、実際に受け取る期末手当が0.05カ月分増えてしまいます。そのため私たちは、「引き下げ」と提案しながら実質引き上げとなる本議案に反対しました。

私たちはこう考えます

だれもが住みよいまちづくりこそ



総合振興計画（基本計画）について討論する金子あきよ市議

人口あたりの医師数・看護師数・病院ベッド数が政令市ワーストワン、1カ所しかない保健所、保育園・学校・学童など、子どもの施設で社会的距離を保てないなど、コロナ禍で浮きぼりになった市の課題があります。

さいたま市はこれまで「機能集積」「選択と集中」「拠点開発」のかけごえで、2都心4副都心開発を進めてきました。しかしひとたびパンデミックが起きれば、人口密集は弱点になります。経済的な影響が長引き、市の財政状況の見通しも不透明ななか、大宮駅GCS化構想・地下鉄7号線延伸・LRT（次世代型路面電車システム）といった大型公共事業に多額の税金を投入し続けるのではなく、子どもからお年寄りまでだれもが住みよい、どこでも住み続けられるまちづくりを進めることこそ、市のやるべきことだと、私たちは考えます。

子どもからお年寄りまでだれもが住みよい、どこでも住み続けられるまちづくりを進めることこそ、市のやるべきことだと、私たちは考えます。

市民の「困った」に 寄り添う市政へ



一般質問



とりうみ敏行 市議

8月が PCR検査数のピーク？

「1日1000件のPCR検査体制」を目標にしている清水市長に対し、とりうみ敏行市議は検査の実績を質しました。市は1日最大433件だった8月の実績を示し、「市内検査医療機関が253確保できたことから1日1000件の検査体制が可能となったと推計する」と答弁。とりうみ市議は北九州市などの事例を紹介し、症状のあるなしにかかわらず医療機関や介護・福祉施設、保育園、学童保育などへ広く社会的検査をおこなうこと、これらの施設で働く人へ定期的な検査をするよう求めました。

総合政策委員会



とばめぐみ 市議

選挙で もっと投票しやすく

駅周辺や商業施設等に「臨時期日前投票所」が設置されますが、見沼区には1カ所もありません。市の選挙管理委員会は、自力で投票所に行くことが困難な市民がいるのを承知しながら対策をとってきませんでした。とばめぐみ市議は、「有権者の高齢化によって投票所への移動が困難な人が増加する。巡回投票所や移動支援の実施に向けた検討が見込まれる市町村を支援する」という埼玉県の提言を紹介し、対策を求めました。市は今後の課題として「投票権の保障と投票環境の向上に努める」と答弁しました。

一般質問



たけこし連 市議

巨大マンション建設で 子育て施設が足りない

たけこし連市議は、さいたま新都心駅徒歩5分の場所に、総戸数1411の県内最大級マンションSHINTO CITYが建設されることに伴い、周辺の子育てインフラについて質問しました。とくに不足が懸念される保育所について、市は「周辺2kmにあらたに10園、591人分の保育所を開設する」と言いますが、2kmでは大宮駅や北浦和駅まで届く距離であり、周辺住民との競争激化は避けられません。市の責任で、新都心駅周辺に保育所建設を、そして学童保育や学校の教室不足についてもきちんと対応するよう求めました。

文教委員会



松村としお 市議

校則の見直し ジェンダーの視点も大事

松村としお市議は「不合理な校則の見直しプロジェクト」について質問。服装や髪型を男女で分けて学校側が決めてしまうのは、ジェンダーや多様性の視点からも問題があること、あわせて、下着の色を指定するなどいわゆるスクールセクハラや人権侵害につながる校則があるという問題も指摘しました。

学校教育部長は「とても大事なこと。校則を見直すうえで十分に配慮する視点」と答弁しました。引き続き、子どもの自主性や権利を大切に校則に見直されるよう求めていきます。

市民生活委員会



久保 みき 市議

ごみが散乱する 西浦和駅をきれいに

多くの吸い殻やごみが散乱しているJR西浦和駅前。利用者から「喫煙所を設けた方がいい」との声が寄せられました。駅前には「路上喫煙やめましょう。ポイ捨てはだめです」という市の掲示板があるものの、効果がありません。

久保みき市議は「掲示板で効果がないなら、喫煙スペースを設けるべきではないか」と提案しました。市は「現場を見たが深刻な状況。きれいな駅前のために行政として力を入れたい。しかし喫煙スペース設置には、場所の問題など課題が多い」と答弁しました。

保健福祉委員会



神田よしゆき 市議

障害者の補装具 支給までの日数を短く

障害者総合支援法にもとづき、障害者の日常生活支援として行われている補装具の給付事業について、利用者から「補装具の支給が遅くて困っている」という声が寄せられました。

質問で、補装具の申請から支給までの期間が平均で26日、最長で524日かかったケースがあったことが明らかに。神田よしゆき市議は「支給までの期間を可能なかぎり短縮するべき」と求め、市も「できるだけ早く補装具を本人の手元に届けることは必要だと認識している」と応じました。

市民生活委員会



金子あきよ 市議

困難を抱える女性を 支援するために

新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、全国、さいたま市ともに女性の自殺者数が急増しています。経済的にも精神的にも、困難に直面している女性への支援策は急務です。

金子あきよ市議は、市の婦人相談員からの聞き取りをもとに、女性相談事業について質しました。コロナ禍のもと夫の在宅時間が長くなり、DV被害が深刻化している、との相談員の実感を紹介し、相談時間や面接相談会場の拡大、児童虐待防止の取り組み、相談員の常勤化などを提案しました。

日本共産党さいたま市議団

2020年12月議会報告

さいたま市浦和区常盤 6-4-4 (さいたま市議会内)
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ホームページ
http://www.jcp-saitama.jp/



ぜひご覧ください！

YouTubeチャンネルで
議会報告しています

日本共産党さいたま市議団 検索

